

○研究論文○

1. 高岡 健. 発達障害は犯罪を惹起するか, 教育と文化 42: 6-14.
2. 高岡 健. 人格障害の理解と対応, 宮城県精神保健福祉センター紀要 33: 60-68(2005).
3. Takaoka K., Kimura K., Kimura E.. Ethical issues regarding children's rights in Japanese Psychiatry, Jpn·J·Child Adolesc·Psychiatr 46(supp.): 61-66(2005).
4. 植木啓文, 小川直志, 鯨田宏樹. うつ病の残遺症状に対して ECT が著効した 1 例, 臨床精神医学 35(9): 1195-1200.
5. 植木啓文. 日本人のうつ病と外国のうつ病 — 日本人のうつ病患者と諸外国のうつ病患者の間には性格面と症状面における違いはあるのか, 医学のあゆみ 219(13): 930-934.
6. Hirofumi Ueki, Christian Holzapfel, Kaoru Sakado, Kaei Washino, Masato Inoue, Naoshi Ogawa, Tetsuji Ietsugu, Akihiro Takai. Prevalence of Typus Melancholicus in Healthy Germans, Psychopathology 39(3): 113-119.
7. 深尾 琢. 困難な症例から学ぶ治療チームが妄想に取り込まれてしまったケース, Schizophrenia Frontier 7(1): 50-53.
8. 西尾彰泰. 「ラカン読解入門」, LR・S・ — ジャック・ラカン研究 — no・5, 日本ラカン協会: 250-265.
9. 藤垣麻衣子, 高田知二, 小出浩之. 早期に生活状況に改善を認めた思春期妄想症の 1 例, 精神科 8(5): 408-412.
10. 田中生雅, 山本眞由美. 大学生活とメンタルヘルスサポート — 2005 年岐阜大学定期健康診断時 UPI 調査より考察 —, ぎふ精神保健福祉 42: 47-54.
11. 田中生雅, 山本眞由美. 心気障害に対して, バイオフィードバック法を併用した受動的音楽療法が有効であった一症例, 岐阜県医師会医学雑誌 19: 95-100.
12. 田中生雅, 梶川幸世, 本多恭子, 御田村相模, 長瀬江利, 植木啓文, 武田 純, 山本眞由美. UPI と GHQ60 の同時調査結果より, 学生健康調査における UPI 有用性の検討, CAMPUS HEALTH 43(1): 269.
13. 本多恭子, 御田村相模, 長瀬江利, 浅田修市, 田中生雅, 牧田浩樹, 土井田 誠, 柴田敏之, 武田 純, 山本眞由美. 大学生の口腔健診結果の検討, CAMPUS HEALTH 43(1): 211.
14. 御田村相模, 本多恭子, 長瀬江利, 浅田修市, 田中生雅, 武田 純, 山本眞由美. 岐阜大学における禁煙対策の有効性の検討 — ニコチンパッチの学生無償提供を試みて —, CAMPUS HEALTH 43(1): 160.
15. 長瀬江利, 本多恭子, 御田村相模, 浅田修市, 田中生雅, 武田 純, 山本眞由美. 大学生の頭痛の実態調査 — 管理指導体制に関する検討 —, CAMPUS HEALTH 43(1): 238.
16. 林 美朗. 狩使本 伊勢物語の本文について, 東海女子大学紀要 25: 11-21.
17. 林 美朗. 精神科医が僧侶(葬儀の導師)でもあるということ, 臨床能生学 11: 76-79.
18. 陳 峻斐, 坂野雄二, 貝谷久宣. パニック障害に対する集団認知行動療法の実際. ストレス科学(日本ストレス学会誌) 20(4): 240-250.
19. 佐藤 寛, 高橋 史, 松尾 雅, 境 泉洋, 嶋田洋徳, 陳 峻斐, 貝谷久宣, 坂野雄二. Social Problem-Solving Inventory-Revised(SPSI-R) 日本語版の作成と信頼性・妥当性の検討, 行動療法研究(日本行動療法学会誌) 32(1): 15-30.
20. 陳 峻斐. 社会不安障害に対する集団認知行動療法, 臨床精神薬理 9(7): 1484-1488.
21. 陳 峻斐. 社会不安障害に対する認知行動療法, 心と社会(日本精神衛生会) 37(3): 76-81.
22. 宮地幸雄. 犬飼さんの事例報告を読んで思ったこと, 岐阜大学心理教育相談研究 5: 11-14.